

ビジネスモデルと強み

「空気・水・熱」の技術で「快適環境・最適空間」を創造する、
メーカー機能を持つ環境エンジニアリングカンパニー



朝日工業社グループは、創業以来約100年間で培われた「空気・水・熱」のコントロール技術をコアコンピタンスとして、設備工事事業と機器製造販売事業を展開しています。

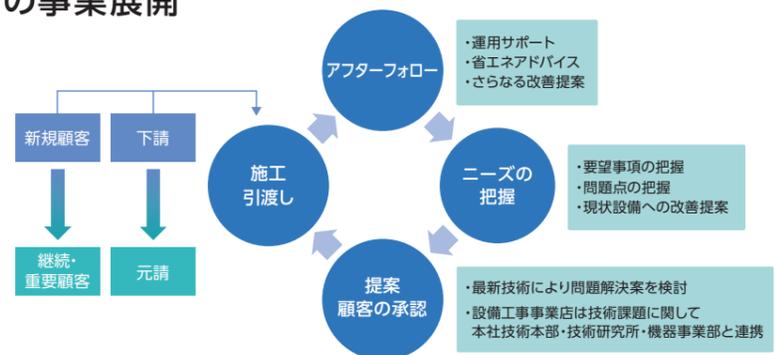
1 創業以来約100年間で培われたコアコンピタンス 「空気・水・熱」のコントロール技術

- 1925 (大正14) 年の創業以来、さまざまな空調設備工事や給排水衛生設備工事を請け負い、1973年以降の累計施工件数は18万件に到達しています。
 - 市場トレンドに対応した各種技術については、積極的に知的財産権を取得し、競争優位性を確保しています。
- ▶▶ 本レポートのP31~34において、当社グループの研究開発の詳細を紹介しています。



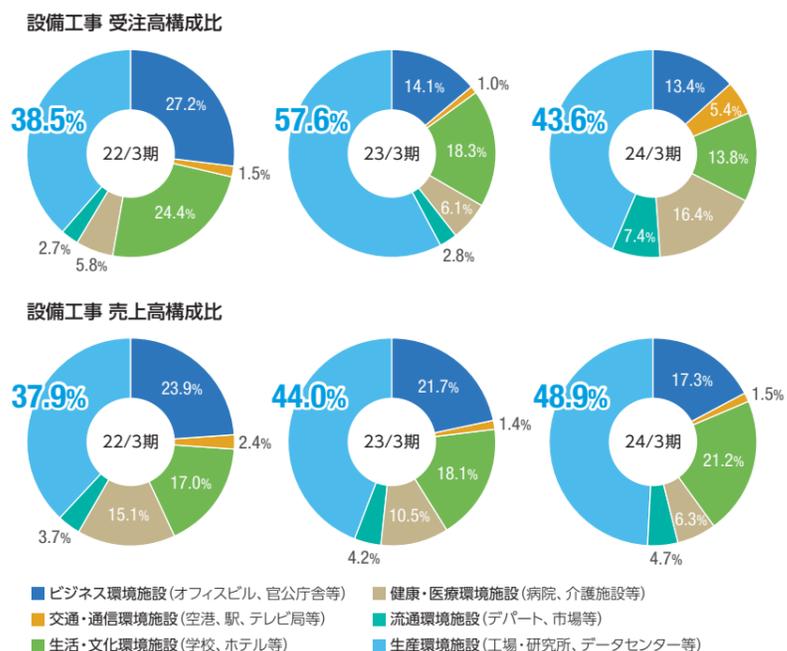
2 顧客密着型の事業展開

- 顧客密着型の事業展開によって、多様な顧客ニーズの把握が可能となっています。
- 把握した顧客ニーズを技術開発やサービス・品質の向上に活かすことで顧客数が増加する好循環サイクルを構築しています。



3 高度な技術を活かした 生産環境施設への取り組み

- 環境に配慮した省エネ技術や専門性が必要とされる生産環境施設向けの空調技術などに積極的に取り組むことで、多種多様で高度な技術を蓄積しています。
 - 直近3カ年の施工量全体に占める生産環境施設の割合は受注・売上ともに平均40%超
 - 生産環境施設の累計施工件数は3万件を超え、さまざまな産業に対する設備工事のノウハウを蓄積
- 時代の流れによって建設ニーズが変化の中で、半導体製造工場、データセンターなど近年のトレンドに対応した技術開発を推進しています。



4 プロジェクトベースで 一体となった事業運営

- 製造拠点の国内回帰や省人化が進む中で、「環境エンジニアリングカンパニー」として企業のサステナビリティへの取り組みにも対応しています。
- 高度化する顧客ニーズに対して、設備工事事業店、機器事業部および技術研究所が連携して、ソリューションを提供しています。

